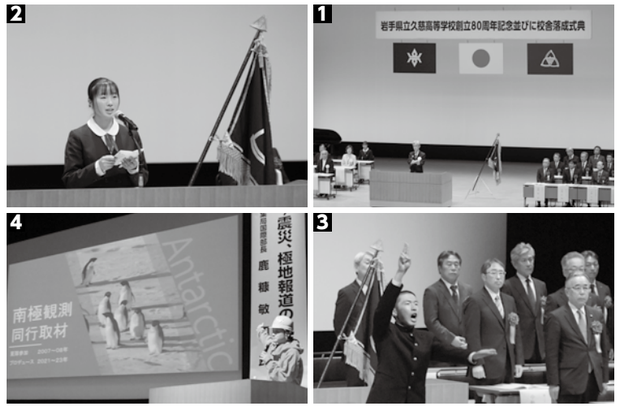
まちのわだい

80年の節目を迎える

久慈高等学校創立80周年記念式　5月13月



1／創立80周年記念式と校舎落成記念式典を合わせて開催　2／生徒代表あいさつ　3／大崎海斗応援団長が指揮を執り全員で校歌斉唱　4／卒業生で株式会社岩手日報社編集局国際部長の鹿糠敏和氏（侍浜町出身）による記念講演会

昭和18年久慈高等女学校の開校から80周年目を迎えた久慈高等学校が、アンバーホールで記念式典と新校舎落成式を開催しました。在校生や関係者らが出席。記念演奏会も行われ創立80周年を祝いました。

藤田知彦校長は「現在、社会は急激に変化しさまざまな課題に直面している。教職員一丸となり生徒たちの教育にまい進していく」とあいさつ。3年生の新山胡桃生徒会長は「歴史の重みやさまざまな伝統に支えられてきたことを実感している。校是である進取貫道（しんしゅかんどう）は、自分から進んで取り組み、一度決めたことを最後までやり通すいう意味が込められてる。生徒全員が常に意識し、日々の生活に使命感を持って頑張っていきたい」と力強く語りました。

笑顔がいっぱい巽市

巽山公園で巽市を開催　5月5日

巽山神社例大祭に合わせて開催

巽山公園で飲食や雑貨などの販売、古着をリメークした鯉のぼりのワークショップなどが行われ、多くの人でにぎわいました。野田村から訪れた駿河千尋（するがちひろ）さんは「子どもの笑顔は見ている人も笑顔になります。みんなが集まり明るい場所が素敵だと思います」と語りました。

環境にやさしい施設

久慈第2冷蔵庫新築工事竣工式　5月16日

環境にも配慮された久慈第2冷蔵庫

㈱十文字チキンカンパニー久慈第2冷蔵庫の竣工式が久慈地区拠点工業団地内で行われ、関係者ら約40人が出席。完成を祝いました。新施設は環境負荷の低減を図った施設で、太陽光パネルを設置し冷凍機には先進設備システムの自然冷媒機器を使用。5人を新規雇用しています。

可憐な花が咲きます

セッコクのコケ玉作り教室開催　4月28日

和気あいあいとコケ玉を作る参加者

長内市民センターが「セッコク（蘭の一種）のコケ玉づくり教室」を開催し、16人が参加しました。初心者が多く、苔玉を丸く硬く成形するのに悪戦苦闘しながらも講師や経験者の手ほどきを受けながら上手に製作。今後は管理方法など詳しく学んでいきます。（大石）

雄大な山根一本桜を楽しむ

山根一本桜トレッキング　4月22日

一本桜についての説明を聞く参加者

山根一本桜を目指し、片道約3㌔の道のりを28人がトレッキングしました。準備運動をしていざ出発。植物講座や山菜を取りながら楽しく歩き、約1時間30分で到着。樹高約12㍍の一本桜にスマホを向けながら見上げ、雄大な美しさに疲れも忘れる満足な一日でした。（大久保）

広報担当やリポーターが、皆さんのところにおじゃまします。
地域の行事など、身近な情報をお寄せください。
問地域づくり振興課　広報くじ担当　☎52-2116　FAX52-3653

梅沢　政隆 リポーター

大久保勝男 リポーター

再オープンから7周年

久慈地下水族科学館もぐらんぴあ　5月5日

多く人でにぎわう南部もぐりの実演

久慈地下水族科学館もぐらんぴあが大型連休にあわせてさまざまなイベント実施。多くの来場者の目を楽しませました。家族で訪れた沼宮内中学校1年の丹内椛蓮（たんないかれん）さんは「さかなクンの絵が上手で驚きました。クラゲのイルミネーションも楽しかったです」と笑顔で語りました。

児童の健全育成を願って

本の寄贈式　5月22日

佐藤校長（左）に目録を手渡す久慈ロータリークラブ日當和孝会長（右）

久慈ロータリークラブが、侍浜中学校に本の購入費約3万円を贈呈しました。生徒の健全育成に役立ててほしいと贈られたもので、学校は希望する本を選ぶことができます。佐藤光校長は「生徒の希望を聞きながら、将来視野が広がる本を購入したい」と思いを語りました。

音の響きを楽しむ

あなたもアーティスト　5月3～5日

スタインウェイ社のピアノで演奏を楽しむ参加者

アンバーホール大ホールで楽器や合唱の練習、ピアノの演奏ができる、文化活動支援事業あなたもアーティストを実施。多くの人がステージ上での演奏を楽しみました。久慈小学校1年の廣﨑柊真（ひろさきとうま）さんは「大きなステージでピアノを弾くのが楽しかったです」と笑顔を見せました。

勇気ある通報

久慈市地域見守り協力事業所の職員が通報　4月26日

警察署長から感謝状を受け取る工藤さん

久慈警察署長は、配達時に異変を感じて通報し室内で動けずにいた男性の命を救った、明治牛乳久慈宅配センターの工藤真知子さんに感謝状を贈呈しました。工藤さんは「いつも言葉を交わしていたので気付くことができました。命が助かり安心しました」と心境を口にしました。

闘牛デビュー戦

平庭闘牛大会わかば場所　5月14日

小さな体をぶつけあい真剣勝負

初めて闘牛場に入る2歳牛が会場や観客に慣れるための「平庭闘牛大会わかば場所」が行われました。デビューした牛は、落ち着きがない牛やペースを崩さない牛などさまざま。勢子が声を掛けながら、巧みに促し角突き。来場者は初々しい取り組みを楽しみました。

おめでとう結成55周年

侍浜「松寿老人クラブ」道の駅で記念式典　5月17日

真新しい道の駅多目的ホールで、笑顔で記念撮影

侍浜地区老連「松寿老人クラブ」の結成55年周年を祝う会が、道の駅いわて北三陸で行われ会員35人が参加しました。式典では、永年会員2名への感謝状贈呈や道の駅の事業概要などを盛り込んだ講演会を実施。館内見学と笑顔で買い物をし、帰りのバスに乗り込みました。（梅沢）

八木沢万寿美 リポーター

小渡　正利 リポーター

大石　純夫 リポーター